

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32304	コミュニケーション能力開発 Developing Communication Skills	河合 詠子	専門	2	選択	1・2年 後期
科目の概要						
<p>社会人にとって欠かすことのできない能力の一つがコミュニケーション能力と言われている。この科目では、相手や周囲との良好な人間関係を築くために必要なスキル、コミュニケーション技法を学ぶ。単に言葉のスキルを磨くだけでなく、相手の心に響く「聴きかた」「話しかた」を中心にコミュニケーション技法を身につけていく。授業では、主に演習やグループワークを通して学び、人前で話す機会も多く取り入れていく。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>①聴き方(メモのとりかた・要約のしかた)を学び、グループワーク(お互いの話を聴き、まとめ、発表)に活かす。</p> <p>②自分の考えをまとめ、話し方のスキル(発音・発声・視線・姿勢等)を使いスピーチ(テーマを決め内容を作成し発表)を行う。</p>			<p>①相手の話を聴き、理解する能力を身につけ、聴いた話を人に伝える能力を身につける。</p> <p>②自分の考えをまとめる力をつけ、話し方のスキルとテクニックを活用し、人前で恥ずかしがらずに話す自信をつける。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	グループワークでコミュニケーションスキルを修得するために自ら進んで行うことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期日までにレポートを提出できるよう手順や方法を考えて進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	周囲からのアドバイスを客観的に整理し、自分の課題を見つけることができる。				
	計画力					
	創造力	コミュニケーションの方法を考える時に、固定観念に捉わられることなく多方面から方法を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手の心に伝わるような発表の仕方(適正な声量、スピード、視線等)を考えて発表することができる。				
	傾聴力	スピーチ・発表を真剣に聴き、発表者に対して質問、感想が言える。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	人前での発表で緊張しても、最後まであきらめずに取り組むことができる。				
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト: コミュニケーション技法 株式会社 ウイネット 1,200円+税</p> <p>参考文献: なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連: ビジネス実務総論、キャリアデザイン</p> <p>資格との関連: ビジネス実務士</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>授業では、随時演習やグループワークを行い、知識をスキルとして活用できる場を多く取り入れている。人前で話す機会も作るので、物おじせず積極的に参加してほしい。人前で話す場数を多く経験した人ほど後の人間関係や就職活動にも役立っている。</p>			<p>授業で配布するプリントの予備は保管しない。</p> <p>授業を欠席した場合は、出席者にコピーを依頼する等、自己完結できる力をつけること。</p> <p>随時グループワークを行う為、欠席・遅刻・早退は事前に申し出ること。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・提出期限および指定分量が守られているか。 ・テーマに沿った内容であるか。 ・構成および文章表現が適確であるか。
		②	✓	
成果発表 (口頭・実技)	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な声量・明確な発音ができるか。 ・テーマに沿った内容であるか。 ・内容に合わせた表現が使えるか。 ・自信を持って堂々と発表できるか。
		②	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)
		②	✓	・自ら進んでグループワークや課題に取り組んでいるか。
				(実行力)
				・指定された内容の発表やレポートが期日を守って行われたか。
				(課題発見力)
				・アドバイスを客観的に整理し、自分の課題を発見することができるか。
				(創造力)
				・固定観念に捉われることなく多方面からコミュニケーションの方法を考えることができるか。
				(発信力)
				・聞き手の心に響く発表の仕方(適正な声量、スピード、視線等)を考えて発表することができるか。
				(傾聴力)
				・スピーチや課題発表を真剣に聴き、発表者に対して質問、感想が言えるか。
				(規律性)
				・受講ルールを守ることができるか。
				(ストレスコントロール力)
				・緊張する発表でも、最後まであきらめずに取り組むことができるか。
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①発表時に学んだスキルを活かし、聞き手を意識した話ができる。 グループワーク等では積極的に参加し、他者の意見を聴き受容した上で、自分の意見が言える。</p> <p>②突然スピーチ等の指名をされても動揺することなく、人前で堂々と相手に伝わりやすい内容を、話し方(適正な声量、速さ)等も工夫して行うことができる。 グループワーク等で進んでメンバーを引き込んでいける。 発表を真剣に聴き質問や感想を言うことができる。</p> <p>S(秀)=①+②、 A(優)=①</p>	<p>①発表時に助けを得ながらも最後まで諦めずに発表することができる。 グループワークに参加し他者の意見を聴くことができる。</p> <p>②受講ルールを守ることができる。</p> <p>③発表時に学んだスキルを意識しながら発表することができる。 グループワークで自分の意見が言える。</p> <p>B(良)=①+②+③、 C(可)=①+②</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 自分のコミュニケーション行動の傾向を確認する。	講義・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	自分のコミュニケーション行動の傾向を知る。	(復習)自分のコミュニケーション行動の傾向をまとめる。 (予習)コミュニケーションの重要性について自分の意見をまとめておく。	180	発信力 傾聴力
2週 /	コミュニケーションの定義 コミュニケーションの重要性について学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	コミュニケーションの重要性を理解する。	(復習)コミュニケーションの定義についてまとめる。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	主体性 発信力
3週 /	正確に伝えるスキル 自分の話し方を見直し、相手に伝わる発声・発音方法を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	自分の発声・発音の癖を知り改善する努力をする。	(復習)正確に伝えるスキルについてまとめる。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	課題発見力
4週 /	コミュニケーションの基本① サイレントトークを通じて言葉の力を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	言葉の持つ力を理解する。	(復習)日常生活の中で学んだ事を意識して会話する。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	主体性 傾聴力
5週 /	コミュニケーションの基本② 人間関係を円滑にする挨拶の方法と効用について学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	挨拶の重要性を理解する。	(復習)学んだ挨拶方法で自分から積極的に挨拶する。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	創造力 発信力 規律性
6週 /	話す力を養う① 間違った現代言葉と正しい日本語を知り話せるようにする。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	間違った現代言葉と正しい日本語を知る。	(復習)日常生活の中で正しい日本語を意識して会話する。(予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	課題発見力
7週 /	話す力を養う② 人間関係を円滑にする敬語表現を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	尊敬語・謙譲語・丁寧語を理解して使うことができる。	(復習)学んだ敬語表現を使って、5人以上の目上の方と会話する。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	主体性 創造力
8週 /	話す力を養う③ 効果的な話の構成技術を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	話の構成方法を理解する。	(復習)授業で取り組んだ課題を手直し仕上げる。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	話す力を養う④ 相手を引きつける表現方法(視線・姿勢・ジェスチャー等)について学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	効果的な表現方法を理解し実践しようと努力する。	(復習)自宅で鏡に向かい、学んだ表現方法を実践しながら話をする。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	主体性 発信力
10週 /	聴く力を養う① 「聴く」ことの重要性を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	「聴く」ことの重要性を説明することができる。	(復習)他科目の授業で、今回学んだ「聴く」姿勢を意識して授業を受ける。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	主体性 傾聴力
11週 /	聴く力を養う② 相手が話しやすくなる聞き手の態度を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	真剣に相手の話を「聴く」ことができる。	(復習)日常生活で聴き手の反応を変えると相手の話し方が変わるか実験してくる。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	主体性 傾聴力 規律性
12週 /	聴く力を養う③ 話が促進する「聴く」技術を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 授業終了時に授業内容についてまとめを行い理解できなかった事についてフィードバックを行う。	話が促進するための「聴く」技術があることを知る。	(復習)TVやラジオの会話を聴き、気持ちを考えながら質問を考えてみる。 (予習)授業内で指示したテキストのページを読んでおく。	180	傾聴力 実行力
13週 /	発表準備 学んだ事を活かして発表する準備を行う。	個人ワーク 授業終了時に発表準備で上手くできなかった事についてフィードバックを行う。	テーマを決め、発表準備に真剣に取り組む。	(復習)発表原稿を仕上げる。 (予習)自宅の鏡に向かい発表練習する。	180	主体性 実行力
14週 /	発表 発表者は「話す力」、聴く人は「聴く力」を発揮する。	発表 授業終了時に「話す」「聴く」力についてチェックリストに基づきフィードバックを行う。	自信がなくても最後まで諦めず発表を行う。	(復習)発表した原稿を手直しし、家族の前で披露する。 (予習)総括レポートに向け、全授業を総復習しておく。	180	実行力 発信力 ストレス コントロール力
15週 /	総括 ・今まで学んで考えてきた内容を振り返る。	講義・演習・個人ワーク 全授業について総括し理解できなかった事についてフィードバックを行う。	今まで学んで考えてきた内容をふまえ、社会人として働く自分を想像し理想像を考えられる。	(復習)総括レポート課題を仕上げる。	180	実行力 課題 発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力